# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

### 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部スポーツ推進課			■担当	4係	スポーツ推進係		
■評価事業名称	奥羽横断駅伝競走大会開催事業							
■事業開始年度	昭和35年度	昭和35年度						
■評価事業コード	090300 - 012 ■会計区分 一般会計							
	■政策 02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり							
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	基本施策 03 スポーツの振興						
	■施策	02 競技力向上への支援						
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策							
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの							
■法令等の名称								
■関連計画の名称								
■事 業 の 目的と概要	6県対抗戦の開催及び3市の交流と競技力の向上。北上市、横手市、本荘市の3市で主 幹事務局を持ち回り開催。							

### 2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	令和 1 年度事業計画	令和 1 年度事業量実績
01 奥羽横断駅 伝競走大会 開催事業	高校生・一般	10月25日~10月27日開催北上市⇒由 利本荘市 117km参加見込:東北各県 対抗 6チーム、一般 20チーム、高校 4チーム事務局会議5回、実行委員会 1回	10月25日~10月27日開催北上市⇒由 利本荘市 117km参加見込:東北各県 対抗 6チーム、一般 16チーム、高校 4チーム事務局会議6回、実行委員会 1回

### 3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	520	541	500	368	
人 件 費	4,611	6,076	3,870	4,912	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,131	6,617	4,370	5,280	

#### 4. 評価指標等の状況

指コ・	音標 指標名 一ド お標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	1チーム当たりコスト	171,033円	213,451円	150,689円	203,076円	フルコスト:参加チーム数
02	参加チーム数	30チーム	31チーム	29チーム	26チーム	参加チーム数

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

	達成状況の分析	問是	問題点·課題等		
<ul><li>■目標達成状況</li><li>A. 順調</li><li>⑤ B. 概ね順調</li><li>○ C. 遅れている</li></ul>	安全な運営が出来ている一方、同会が増加していることから、参加チ している。	ーム数が減少 チー	専期に他の大会が増加していることから、参加 −ム数が減少している。主幹事務局が毎年変 るため、事業の効率化に繋がりにくい。		
-1. 直接的な受益者の範囲	────────────────────────────────────	係の有無			
○ 不特定多数に及ぶ	● 類似の事業はない				
● 特定されるが多数に及ぶ	○ 類似の事業はあるが	競合はない			
○ 特定少数に限定される	○ 類似の事業があり競	合する			
-3. 事業廃止の影響・貢献度 事業の廃止により重大な問題がする 事業の廃止により何らかの問題 生する 事業の廃止による問題は想定さ	が発 市民生活・企業活動の 貢献している	)維持に不可欠 )維持に一定程度	<ul><li>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</li><li>① 1. で選択した人の大多数(70%程度)</li><li>○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</li><li>○ 1. で選択した人の少数(30%程度)</li></ul>		
	───── ──── <sub>─</sub>  ──7. 施策の改善需要度(†	 「民意識調査) <del></del>	」 -─8. 施策の優先度(市民意識調査) ───		
○ ニーズが高まっている	│ │ │ │ │ │ │		 │ ○ 順位が高い		
<ul><li>○ ニーズは変わらない</li></ul>	│ │ │ │ │ │		○   ⑥ 順位が中程度		
○ ニーズが低下している又は合致	しない ● 順位が低い		○順位が低い		
	   10. 実施主体の代替性		 		
● 先進的またはユニークな事業で	ある 民間委託等の拡充は	難しい	今以上の効率化や改善は難しい		
○ 他と同程度の事業である	● 民間委託等の拡充が	十分に可能	● 効率化や改善を図ることは十分に可能		
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施主体	の移行が可能	○ 効率化や改善の余地が大きい		
■事業の見直し方策(評価項目2,40 毎年同程度の参加チーム数の参加さいる。県外チームの参加もあり、前であり継続する	があり、大会が認知され定着し	<ul><li>一■今後の方向性</li><li>I. 拡充</li><li>I. 継続</li><li>Ⅲ. 縮小</li></ul>	<ul><li>IV. 廃止・休止</li><li>∇. 完了</li></ul>		